



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

2011年3月

特別勘定マンスリーレポート

特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注) 変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売していません。

この資料の内容は当社のホームページでもご覧になれます。

www.axa.co.jp/life/

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

特別勘定マンスリーレポート(2011年3月末)

【目次】

1. 特別勘定の運用概況	3P
2. 各特別勘定の運用状況	
日本株式型	6P
日本株式積極運用型	7P
米国株式型	8P
欧州株式型	9P
世界株式型(為替ヘッジなし)	10P
世界株式型(為替ヘッジあり)	11P
世界債券型	12P
金融市場型	13P
グローバル・バランス型	14P
3. 各特別勘定で投資している投資信託の運用状況	15P
4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介	25P

『ご留意いただきたい事項』

■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

■生命保険です

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■運用実績に応じて変動します。

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

1. 特別勘定の運用概況

▶ 特別勘定の運用方針

日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX ^{※1})を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 ^{※2} を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 ^{※3} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス ^{※4} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) ^{※5} 50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本) ^{※6} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) ^{※7} を上回る投資成果を目指します。
グローバル・ バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス ^{※8} 50%、シティグループ世界国債インデックス ^{※9} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。

- ※1) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。
※2) S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。
※3) MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。
※4) MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。
※5) NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
※6) シティグループ世界国債インデックス(除く日本)とはシティグループ・グローバル・マーケットが算出・公表している指数で、日本を除いた世界主要国の国債の総利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。
※7) NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
※8) MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。
※9) シティグループ世界国債インデックスとはシティグループ・グローバル・マーケットが算出・公表している指数で、日本を含む世界主要国の国債の総利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

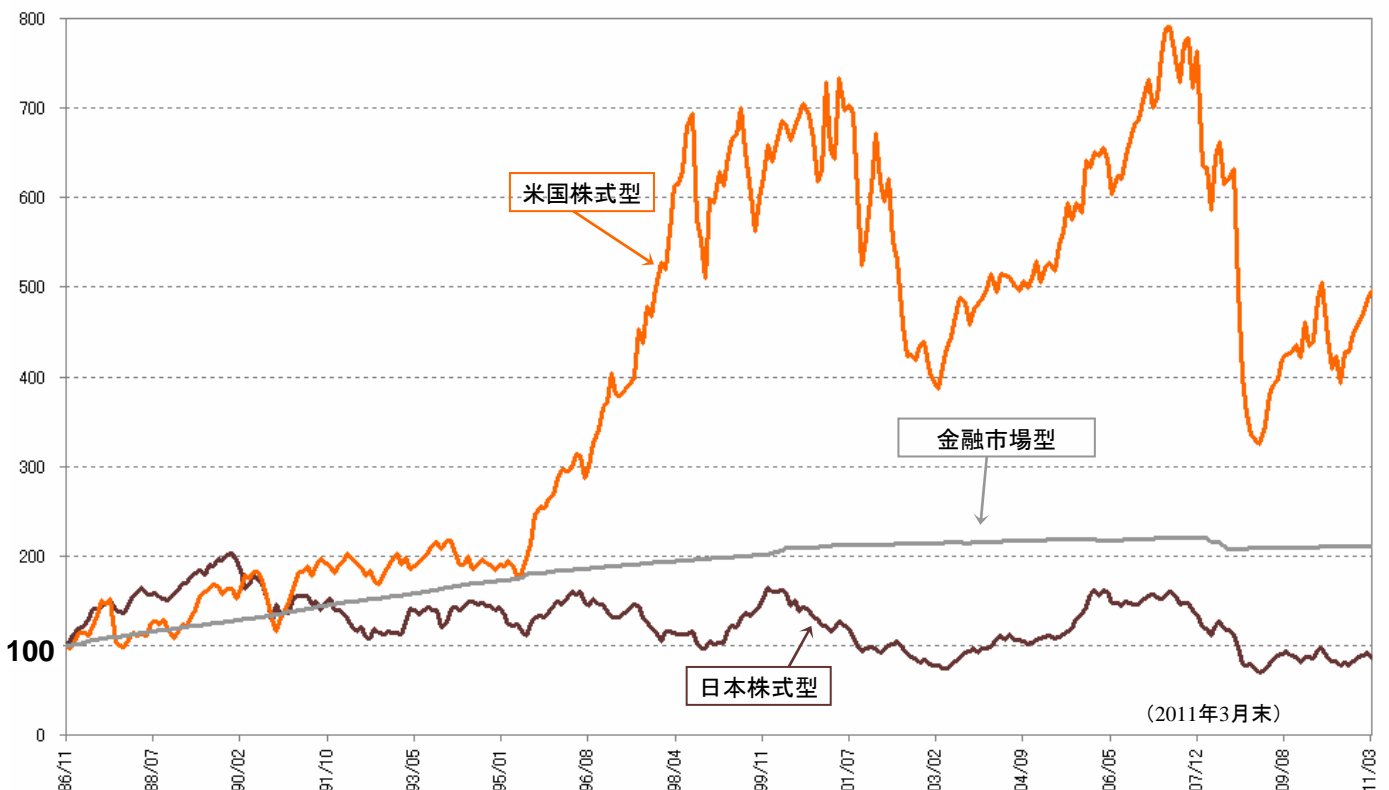
▶特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧(2011年3月末現在)

特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	86.27763014	▲6.39%	▲1.27%	+6.77%	▲8.51%	▲22.08%	▲46.55%	▲13.72%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	52.43476187	▲6.39%	▲0.16%	+8.91%	▲7.84%	▲28.22%	▲51.14%	▲47.57%
米国株式型	1986年12月1日	496.51284611	+2.10%	+7.64%	+16.09%	+2.00%	▲15.30%	▲24.26%	+396.51%
欧州株式型	1999年4月1日	103.47619058	+3.09%	+9.89%	+12.30%	+2.14%	▲24.84%	▲24.33%	+3.48%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	92.49614597	+2.80%	+7.04%	+13.69%	+4.22%	▲12.58%	▲17.87%	▲7.50%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	94.01770241	+0.30%	+2.53%	+11.50%	+11.09%	+5.68%	+0.51%	▲5.98%
世界債券型	1999年4月1日	122.78452905	+1.30%	+2.17%	▲1.41%	▲1.59%	▲2.12%	+0.32%	+22.78%
金融市場型	1986年12月1日	210.14997167	+0.04%	▲0.01%	▲0.04%	+0.12%	▲2.57%	▲3.04%	+110.15%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	110.34883342	+2.35%	+5.25%	+6.44%	+0.21%	▲10.60%	▲10.96%	+10.35%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

▶特別勘定のユニット・プライス推移(2011年3月末現在)

- ◆1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



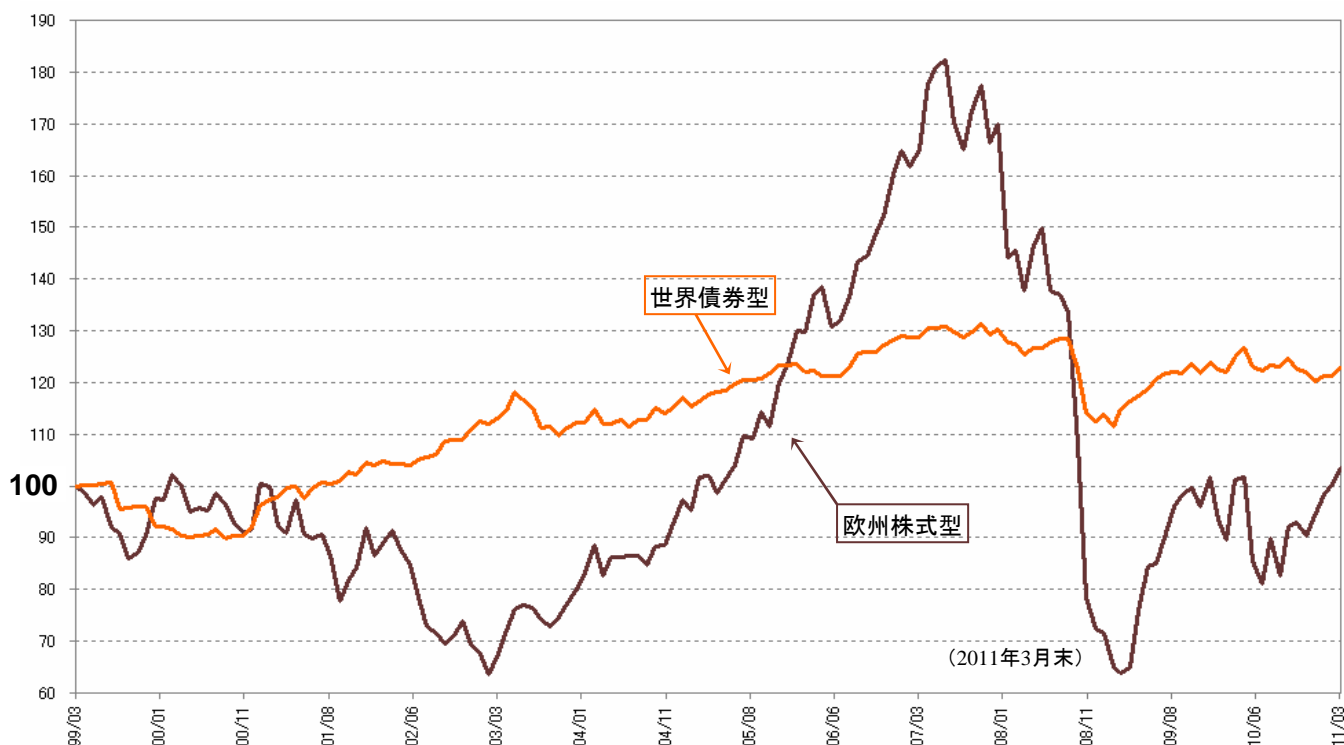
ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

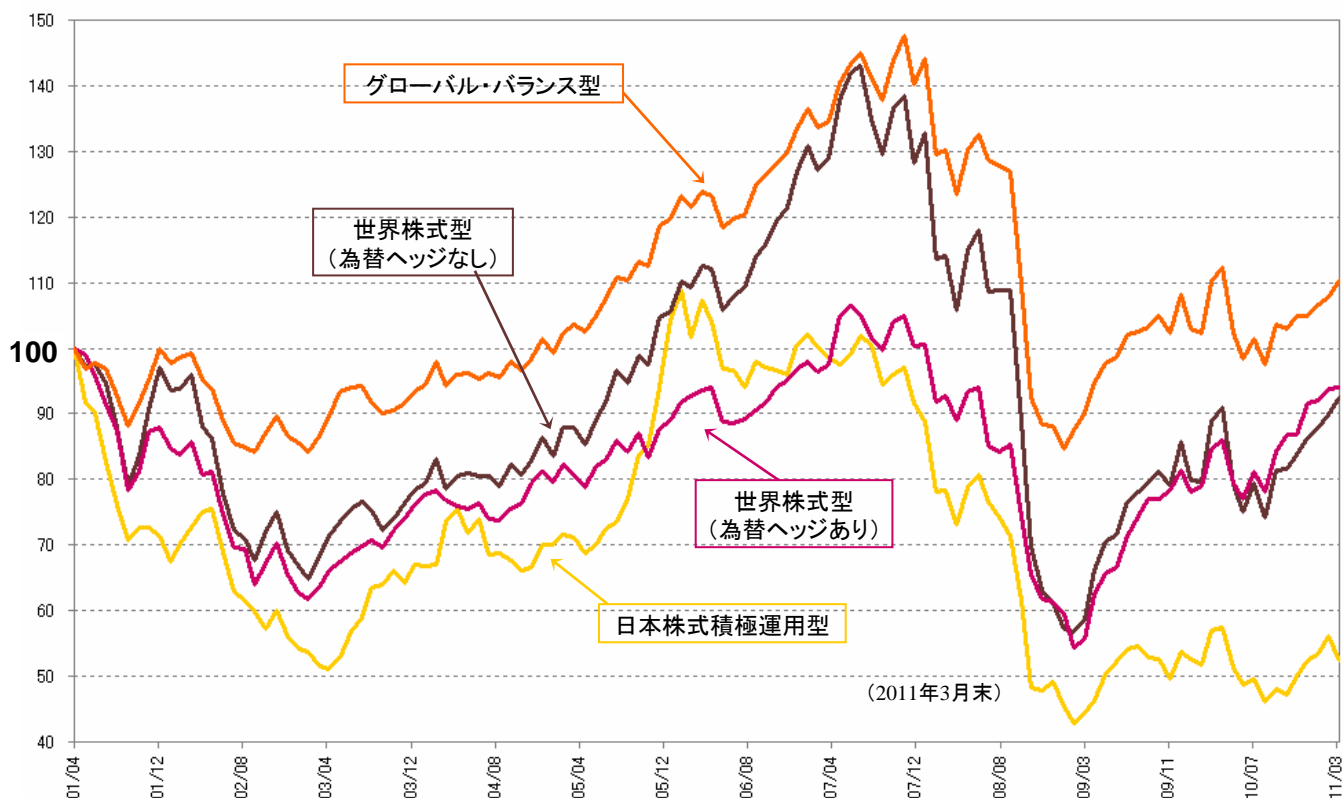
■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

◆1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



◆2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

2. 各特別勘定の運用状況

日本株式型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	16,256,992	99.6%
現預金・その他	59,969	0.4%
合計	16,316,962	100.0%

運用状況

2011年3月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で前月比7.61%下落しました。上旬は中東・北アフリカ情勢の混乱による原油高の影響等から揉み合いました。11日に東日本大震災が発生し、経済の先行きに対する不透明感が高まるとTOPIX、日経平均ともに歴代下落率3位になるなど、株式市場は大幅に下落しました。その後、G7による為替協調介入が実施されたことから回復基調に転じましたが、原子力発電所事故の深刻な状況や計画停電に伴う自動車や電気機器の生産休止等の懸念が重石となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は6.39%下落しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、バリュー運用を行う「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

3月は資金移動に合わせて「ラッセル日本株式ファンドI-3」の一部売却を行いました。

4月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
86.27763014	▲6.39%	▲1.27%	+6.77%	▲8.51%	▲22.08%	▲46.55%	▲13.72%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (67.5%) : p15上段
日本株バリューマルチマネージャーファンド (17.5%) : p15下段
アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド (14.6%) : p16上段
現預金・その他 (0.4%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

日本株式積極運用型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,098,370	98.7%
現預金・その他	14,002	1.3%
合計	1,112,372	100.0%

運用状況

2011年3月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で前月比7.61%下落しました。上旬は中東・北アフリカ情勢の混乱による原油高の影響等から揉み合いました。11日に東日本大震災が発生し、経済の先行きに対する不透明感が高まるとTOPIX、日経平均ともに歴代下落率3位になるなど、株式市場は大幅に下落しました。その後、G7による為替協調介入が実施されたことから回復基調に転じましたが、原子力発電所事故の深刻な状況や計画停電に伴う自動車や電気機器の生産休止等の懸念が重石となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は6.39%下落しました。

当特別勘定では、運用方針を勘案し、グロース運用を行う投資信託を組み合わせた運用を行っています。

現在、「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」に投資しています。

3月は資金移動に合わせて「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」の購入を行いました。

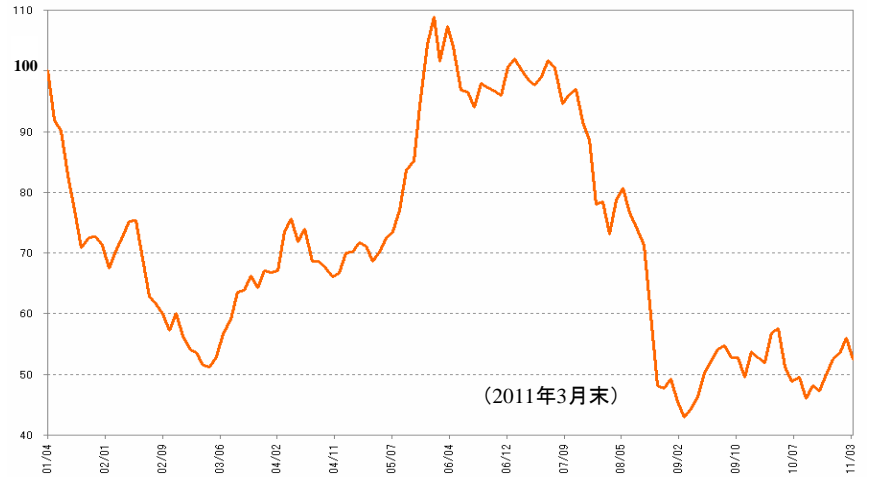
4月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
52.43476187	▲6.39%	▲0.16%	+8.91%	▲7.84%	▲28.22%	▲51.14%	▲47.57%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (58.7%) : p16下段
ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (40.1%) : p17上段
現預金・その他 (1.3%)

(注)「p16下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

米国株式型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S&P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	9,510,706	99.5%
現預金・その他	52,253	0.5%
合計	9,562,959	100.0%

運用状況

2011年3月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で0.12%上昇しました。上旬は中東・北アフリカ情勢の混乱による原油高の悪影響が懸念される中、2月ISM非製造業景気指数など市場予想を上回る経済指標の発表もあり、株式市場は揉み合いながら推移しました。中旬は日本で発生した東日本大震災とそれに伴い発生した原子力発電所事故の深刻化等を受け、一時株式市場は大きく下落する局面がありました。しかし下旬には2010年10-12月期実質GDPの確定値が上方修正されたこと等を背景に株式市場は上昇基調に転じ、月を終えました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.10%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

3月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

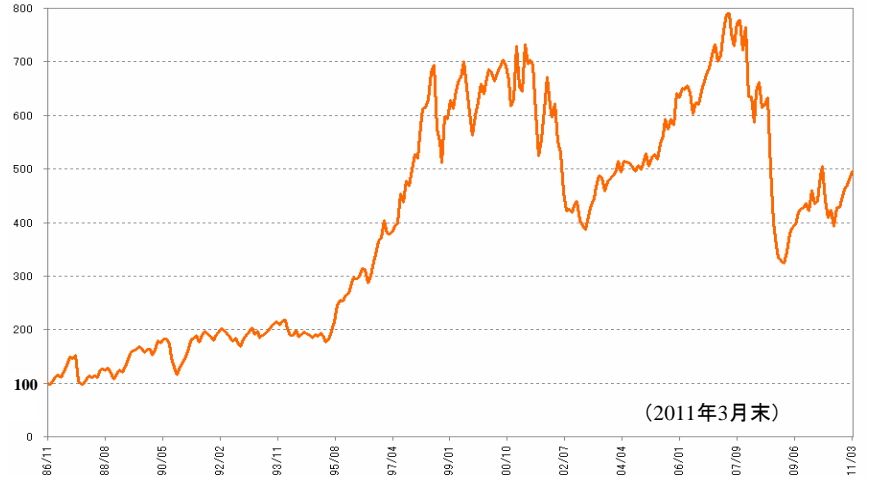
4月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
496.51284611	+2.10%	+7.64%	+16.09%	+2.00%	▲15.30%	▲24.26%	+396.51%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

欧州株式型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCIヨーロッパ指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	2,822,935	99.6%
現預金・その他	10,407	0.4%
合計	2,833,342	100.0%

運用状況

2011年3月の欧州株式市場はMSCI Europe(現地通貨ベース)で1.84%下落しました。上旬は中東・北アフリカ情勢の混乱による原油高の影響等から下落基調で推移しました。日本で発生した東日本大震災を受け、経済の先行きに対する不透明感が高まると株式市場は大幅下落し、ドイツ株式市場ではDAXが一時6,500ポイントを割り込む水準まで下落しました。下旬は好調な企業決算等から回復に転じ、上昇基調で月を終えました。このような市場環境の中、当特別勘定は3.09%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

3月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

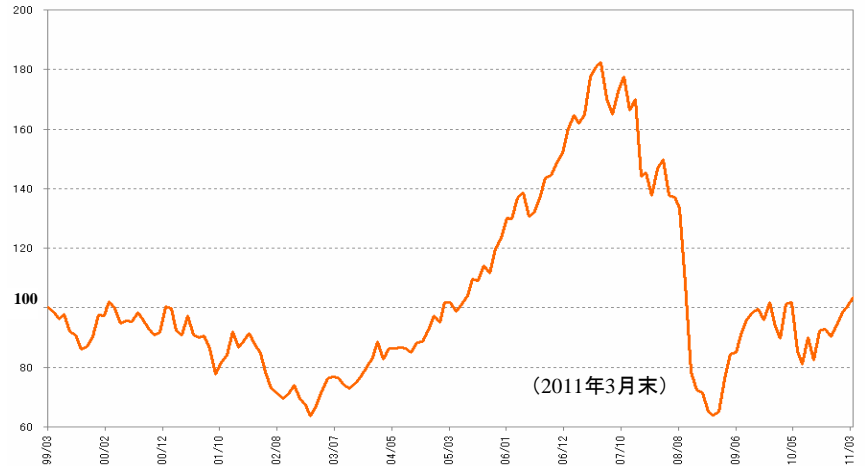
4月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC II Pan European Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
103.47619058	+3.09%	+9.89%	+12.30%	+2.14%	▲24.84%	▲24.33%	+3.48%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p18下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定 運用状況(2011年3月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,326,366	98.5%
現預金・その他	19,770	1.5%
合計	1,346,135	100.0%

運用状況

2011年3月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.47%下落しました。米国、ドイツの株式市場ともに、上旬は原油高の悪影響が懸念される中、下落基調で揉み合いながら推移しました。11日に日本で発生した東日本大震災を受け、経済の先行きに対する不透明感が高まったことから一時、大きく下落する局面がありました。しかしその後、下旬にかけては、米国で堅調な経済指標が示されたこと等を背景に上昇基調へと転じ、月を終えました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.80%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

3月は資金移動に合わせて「ラッセル外国株式ファンドI-4B」の購入を行いました。

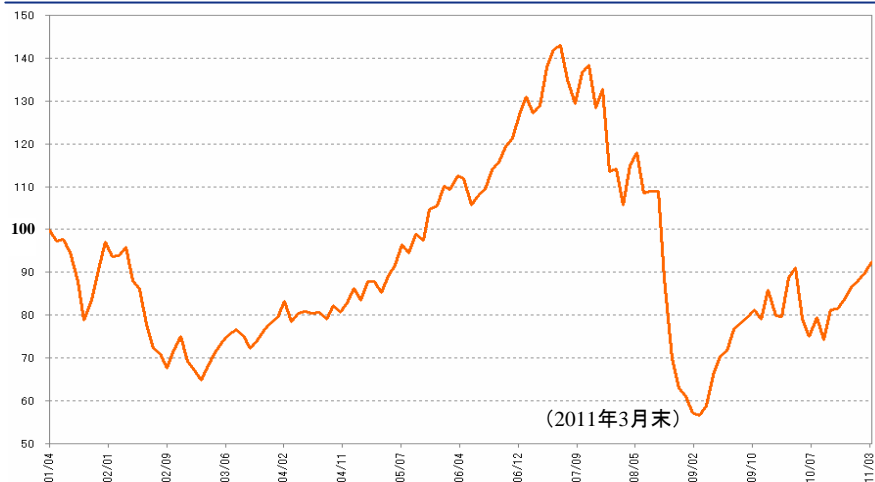
4月についても、「ラッセル外国株式ファンドI-4B」、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」への投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
92.49614597	+2.80%	+7.04%	+13.69%	+4.22%	▲12.58%	▲17.87%	▲7.50%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4B (70.7%) : p19下段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (27.8%) : p20上段
現預金・その他 (1.5%)

(注)「p19下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2011年3月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	512,265	98.5%
現預金・その他	7,686	1.5%
合計	519,951	100.0%

運用状況

2011年3月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.47%下落しました。米国、ドイツの株式市場ともに、上旬は原油高の悪影響が懸念される中、下落基調で揉み合いながら推移しました。11日に日本で発生した東日本大震災を受け、経済の先行きに対する不透明感が高まったことから一時、大きく下落する局面がありました。しかしその後、下旬にかけては、米国で堅調な経済指標が示されたこと等を背景に上昇基調へと転じ、月を終えました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.30%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

3月は資金移動に合わせて「ラッセル外国株式ファンドI-4A」の購入を行いました。

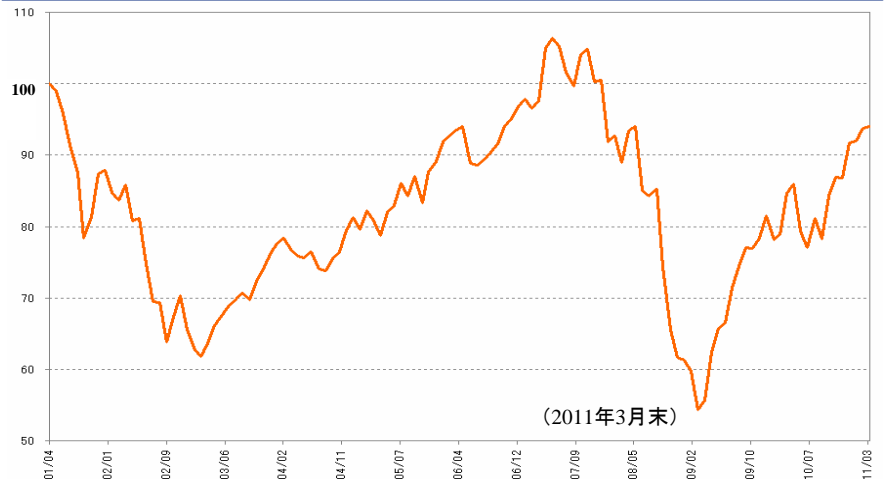
4月についても、「ラッセル外国株式ファンドI-4A」、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」への投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
94.01770241	+0.30%	+2.53%	+11.50%	+11.09%	+5.68%	+0.51%	▲5.98%

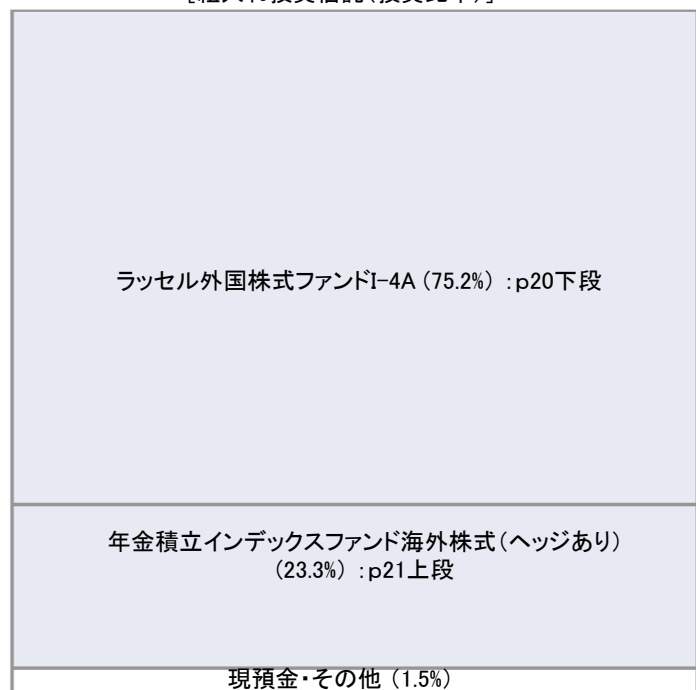
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p20下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界債券型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。
- 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。
- NOMURA-BPI(総合)50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,644,157	99.7%
現預金・その他	25,420	0.3%
合計	7,669,577	100.0%

運用状況

2011年3月の世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で0.14%下落しました。米国債券市場は上旬、2月のISM非製造業景気指数の上昇等を受け、長期金利が上昇する一方、原油高の懸念から長期金利が低下する局面もあり、揉み合いながら推移しました。11日に日本で発生した東日本大震災とそれに伴い発生した原子力発電所事故の深刻化を受け、一時長期金利は大きく低下(価格は上昇)する局面がありました。下旬にかけては金融政策を引き締め方向へ転換するとの懸念から、上昇基調(価格は下落)で月を終えました。ドイツ債券市場は上旬ECB(欧州中央銀行)政策理事会でECB総裁が4月の利上げ可能性を言及したことなどから長期金利は上昇(価格は下落)し、米国同様、11日の東日本大震災を受け、リスク回避の動き等から、長期金利が低下(価格は上昇)する局面もありました。しかし月末にかけては株式市場の回復等もあり、長期金利は上昇基調(価格は下落)となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.30%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

3月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

4月についても、グローバル債券運用を行う「RIC Global Bond Fund」、「グローバル・ボンド・ファンドVA」および国内債券運用を行う「ラッセル日本債券ファンドI-1」への投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。また、国内公社債と海外公社債の投資割合の調整にあたっては、「RIC Global Bond Fund」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」における国内公社債の組入れ比率および現金等の比率を勘案しています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
122.78452905	+1.30%	+2.17%	▲1.41%	▲1.59%	▲2.12%	+0.32%	+22.78%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1999年4月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

〔基本配分〕

海外公社債 50%
国内公社債 50%

〔組入れ投資信託(投資比率)〕

RIC Global Bond Fund (35.4%) : p22下段
グローバル・ボンド・ファンドVA (24.1%) : p23上段
ラッセル日本債券ファンドI-1 (40.2%) : p23下段
現預金・その他 (0.3%)

(注)「p22下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

金融市場型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。
- NOMURA-BPI(総合短期)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	8,547,754	99.4%
現預金・その他	53,238	0.6%
合計	8,600,992	100.0%

運用状況

2011年3月の国内債券市場はNOMURA-BPI(総合)で0.01%下落しました。上旬は国内株式市場が揉み合う展開の中、2010年10-12月期の設備投資が緩やかな回復を示す等したことから、国内長期金利は上昇(価格は下落)基調で推移しました。しかし11日に発生した東日本大震災により国内株式市場が大きく売られたことや、安全資産としての債券の需要が高まったことから、中旬にかけて国内長期金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。その後、下旬にかけては国内株式市場での買い戻し等から国内長期金利も上昇基調(価格は下落)となり、月を終えました。一方、国内短期債券市場は東日本大震災により不安定な動きとなりましたが、日本銀行による大量の資金供給オペにより月末には短期国債金利は低下(価格は上昇)となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.04%上昇しました。

現在、「ノムラ短期債券オープン」および「フィデリティ・マネー・プールVA」に投資しています。

3月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

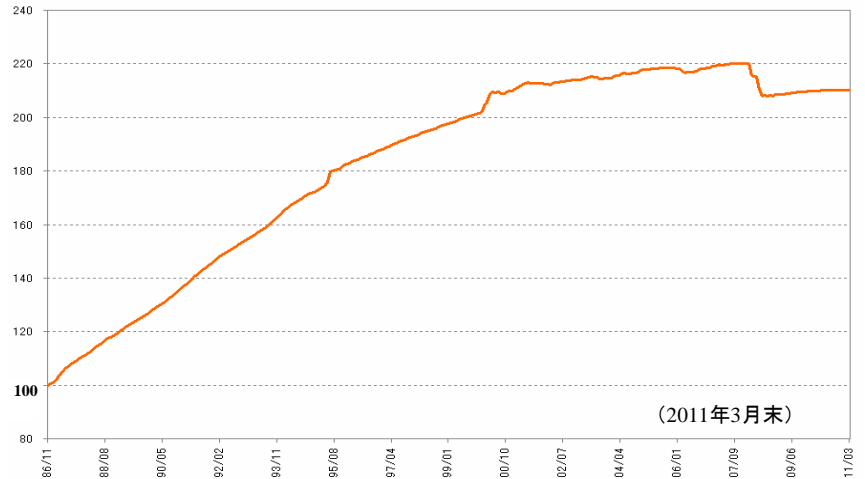
4月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
210.14997167	+0.04%	▲0.01%	▲0.04%	+0.12%	▲2.57%	▲3.04%	+110.15%

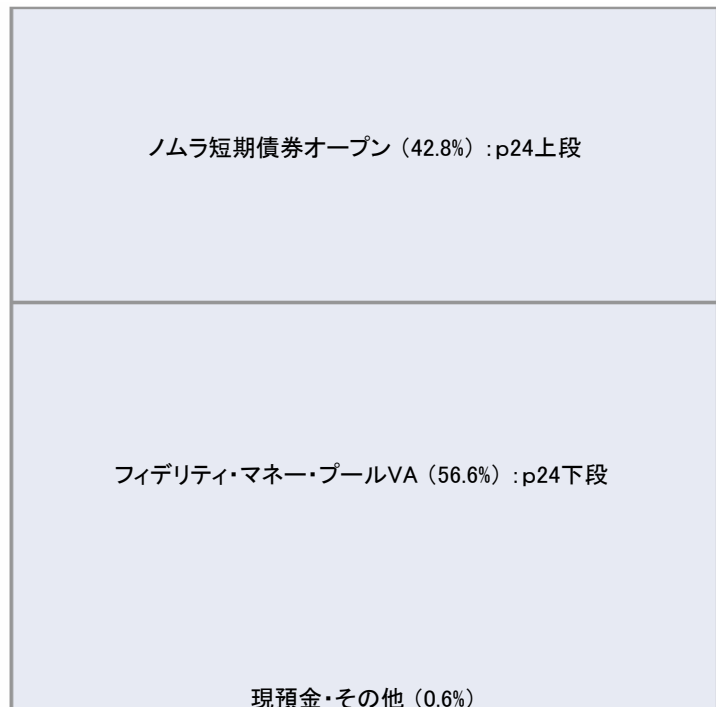
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p24上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

グローバル・バランス型特別勘定 運用状況 (2011年3月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。
- 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。
- MSCI WORLDインデックス50%、シティグループ世界国債インデックス50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	16,038,394	99.5%
現預金・その他	88,096	0.5%
合計	16,126,491	100.0%

運用状況

2011年3月のグローバル株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.47%下落しました。グローバル債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で0.14%下落しました。米国、ドイツともに株式市場は上旬、揉み合いながら推移し、11日に日本で発生した東日本大震災を受け、一時大きく下落する局面がありました。月末にかけては回復に転じ、月を終えました。債券市場も米国、ドイツともに、上旬は好調な経済指標と原油高の懸念から揉み合う展開となり、日本での震災後、安全資産として買われる動きとなり、長期金利が低下(価格が上昇)する局面がありました。月末にかけては株式市場での買戻しや米国で金融政策を引き締め方向へ転換するとの懸念が高まったこと等から長期金利は上昇基調(価格は下落)で月を終えました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.35%上昇しました。

3月は資金移動に合わせて「グローバル・ボンド・ファンドVA」の購入を行いました。

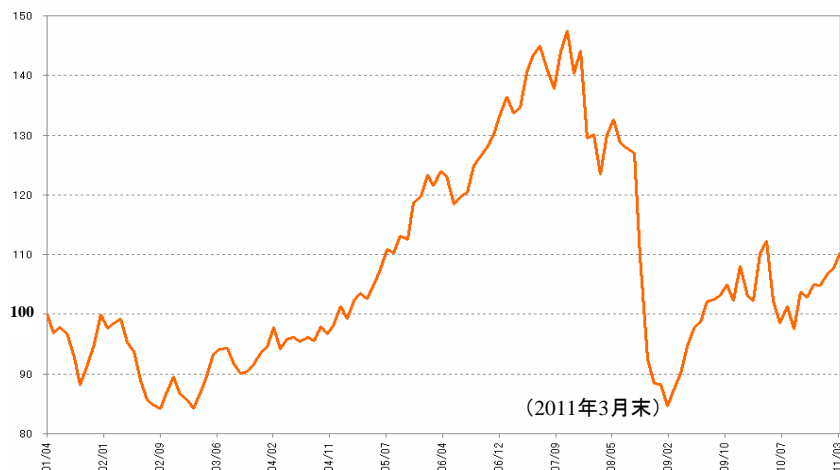
4月についても、内外株式部分については「RIC II World Equity Fund」および「グローバル成長株ファンド」を、内外公社債部分については「RIC Global Bond Fund」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」を継続して保有する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去5ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
110.34883342	+2.35%	+5.25%	+6.44%	+0.21%	▲10.60%	▲10.96%	+10.35%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(100)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

国内外株式 50%
国内外公社債 50%

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II World Equity Fund (22.8%) : p21下段
グローバル成長株ファンド (30.4%) : p22上段
RIC Global Bond Fund (19.0%) : p22下段
グローバル・ボンド・ファンドVA (27.3%) : p23上段
現預金・その他 (0.5%)

(注)「p21下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

3.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆国内の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況 (2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲7.69%	▲7.61%
過去3ヵ月	▲2.05%	▲2.18%
過去6ヵ月	+6.09%	+6.10%
過去1年	▲9.70%	▲9.23%
過去3年	▲24.94%	▲23.95%
設定来	+9.90%	+7.17%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:2002年9月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	11.5%
銀行業	10.5%
輸送用機器	8.6%
化学	8.5%
卸売業	7.7%
情報・通信業	7.3%
機械	4.1%
医薬品	3.5%
陸運業	3.1%
小売業	3.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.0%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%
日本電信電話	情報・通信業	2.4%
三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.3%
三井物産	卸売業	2.1%
エヌ・ティ・ティ・コム	情報・通信業	2.0%
三菱商事	卸売業	1.9%
本田技研工業	輸送用機器	1.6%
オリックス	その他金融業	1.6%
日産自動車	輸送用機器	1.3%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
RIS(テンプル・バリュー-ISP*)	バリュー型	10%
ゼブラ	バリュー型	20%
アライアンス・パートナーズ	バリュー型	20%
ファンネックス	マーケット・オリエンテッド型	25%
住友信託	グロース型	25%

- ①比率は国内株式評価額合計に占める割合
- ②キャッシュ・エクワイブレーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。

* ISP: Investment Strategy Portfolio

(投資信託名)日本株バリューマルチマネージャーファンド

(運用会社)新光投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の株式の中から割合とされる銘柄に投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「バリュー1号マザーファンド」および「バリュー2号マザーファンド」を主要投資対象とします。各マザーファンドの投資配分の決定にあたっては、HCアセットマネジメントの助言を受けます。
- ◆株式の運用指図に関する権限については、バリュー1号マザーファンドはラザード・ジャパン・アセット・マネジメント株式会社に、バリュー2号マザーファンドはBNPパリバ・インベストメント・パートナーズ株式会社にそれぞれ委託しています。

(出所)新光投信株式会社

ファンドの騰落状況 (2011年3月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲4.91%
過去3ヵ月	▲1.42%
過去6ヵ月	+7.18%
過去1年	▲8.68%
過去3年	▲26.72%
設定来	▲12.29%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:2003年11月20日]



ポートフォリオの状況(2011年3月末現在)

■マザーファンド組入比率

マザーファンド	比率
バリュー1号	67.58%
マザーファンド	
バリュー2号	32.31%
マザーファンド	

バリュー1号
マザー
ファンド

■組入上位5業種

業種	比率
銀行業	10.1%
建設業	9.6%
電気機器	9.5%
化学	8.7%
情報・通信業	8.6%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
みずほフィナンシャルG	4.2%
JXホールディングス	4.0%
任天堂	4.0%
日本電信電話	3.8%
三菱UFJフィナンシャルG	3.4%

※組入上位5業種および組入上位5銘柄の比率は各マザーファンドの株式組入比率全体を100%とした比率です。

バリュー2号
マザー
ファンド

業種	比率
情報・通信業	25.6%
電気機器	16.2%
陸運業	10.0%
機械	8.4%
サービス業	7.1%

銘柄	比率
ヤーマン	6.6%
インターネット・シフト	5.4%
静岡瓦斯	4.9%
SBSホールディングス	4.7%
オーナンパ	4.6%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲2.08%
過去3ヵ月	+2.77%
過去6ヵ月	+10.40%
過去1年	▲1.88%
過去3年	+1.55%
設定来	+47.35%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	86.1%
東京二部	4.1%
JASDAQ	1.4%
その他市場	2.6%
現金・その他	5.9%
合計	100.0%

(出所)アムンディ・ジャパン株式会社

※構成比はマザーファンドの対純資産総額に対する比率をいいます。

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	15.6%
機械	12.0%
化学	10.3%
建設業	9.9%
卸売業	8.3%
金属製品	4.9%
情報・通信業	4.6%
銀行業	4.0%
医薬品	3.5%
食料品	3.4%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
三機工業	建設業	2.5%
日本デジタル研究所	電気機器	2.3%
マブチモーター	電気機器	2.2%
長府製作所	金属製品	2.2%
キッセイ薬品工業	医薬品	2.2%
東京応化工業	化学	2.2%
鹿児島銀行	銀行業	2.0%
アマダ	機械	2.0%
静岡銀行	銀行業	2.0%
ホシデン	電気機器	1.9%

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲5.85%	▲7.61%
過去3ヵ月	+0.24%	▲2.18%
過去6ヵ月	+9.25%	+6.10%
過去1年	▲7.08%	▲9.23%
過去3年	▲18.60%	▲23.95%
設定来	+1.94%	▲5.41%

(出所)フィデリティ投信株式会社

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2001年11月29日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率
(2011年2月末現在)

市場	比率
東証1部	90.7%
東証2部	-
ジャストック	0.5%
その他市場	5.7%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■組入上位5業種
(2011年2月末現在)

業種	比率
電気機器	19.4%
銀行業	12.7%
輸送用機器	10.7%
卸売業	6.5%
機械	5.8%

■株式組入上位10銘柄(2011年2月末現在)

銘柄	業種	比率
トヨタ自動車	輸送用機器	4.2%
三井住友フィナンシャルグループ*	銀行業	4.0%
みずほフィナンシャルグループ*	銀行業	3.4%
リックス	その他金融業	3.2%
ミスケグループ*本社	卸売業	2.9%
三菱UFJフィナンシャル・グループ*	銀行業	2.4%
日立金属	鉄鋼	2.3%
三井物産	卸売業	2.2%
三菱電機	電気機器	2.2%
マキタ	機械	2.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド

(運用会社)ピクテ投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ピクテ投信投資顧問株式会社

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲7.54%
過去3ヵ月	▲0.81%
過去6ヵ月	+8.79%
過去1年	▲9.44%
過去3年	▲38.32%
設定来	▲9.31%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2002年5月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	86.3%
大証1部	4.6%
ジャスダック	3.6%
名証1部	1.5%
東証2部	0.9%

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	13.2%
化学	12.0%
輸送用機器	10.3%
機械	7.1%
銀行業	4.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
イビデン	電気機器	2.5%
本田技研工業	輸送用機器	2.4%
関東電化工業	化学	2.2%
野村ホールディングス	証券・商品先物取引業	1.9%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.9%
カブドットコム証券	証券・商品先物取引業	1.9%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.9%
デンソー	輸送用機器	1.8%
楽天	サービス業	1.8%
テルモ	精密機器	1.7%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(投資信託名)RIC US Equity Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米国の大型株を主要投資対象とし、ベンチマーク(Russell 1000 Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用し、分散化を図ることで、ベンチマークと同程度のリスクになるようコントロールします。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲0.36%	+0.22%
過去3ヵ月	+5.61%	+6.10%
過去6ヵ月	+17.75%	+17.80%
過去1年	+14.46%	+16.03%
過去3年	+2.43%	+7.10%
設定来	+37.49%	+67.16%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:1998年1月2日]



ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2011年3月末現在)

銘柄	業種	比率
JPMorgan Chase & Co.	金融サービス	2.6%
MetLife, Inc.	金融サービス	2.3%
Pfizer, Inc.	ヘルスケア	2.1%
Apple, Inc.	テクノロジー	2.0%
Oracle Corp.	テクノロジー	1.9%
QUALCOMM, Inc.	テクノロジー	1.4%
Google, Inc.	テクノロジー	1.4%
The Coca-Cola Company	生活必需品	1.4%
ACCENTURE PLC	生産者向け耐久財	1.4%
Devon Energy Corp.	エネルギー	1.3%

■外部委託会社(2011年3月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Suffolk Capital Management	マーケット・オリエンテッド型	11.0%
MFS Institutional Advisors	バリュー型	10.0%
Montag & Caldwell	グロース型	11.0%
Select Holdings	集中投資型	5.0%
Institutional Capital Corporation	バリュー型	12.0%
Sound Shore	バリュー型	8.0%
Columbus Circle	グロース型	11.0%
Cornerstone	グロース型	10.0%
First Eagle	マーケット・オリエンテッド型	6.0%
Pzena	バリュー型	7.0%
Levin	マーケット・オリエンテッド型	9.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)米国株式インデックスファンドVA

(運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ S & P500種株価指数(円ベース)に連動した投資成果を目指します。
- ◆ ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「米国株式インデックスマザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.50%	+2.41%
過去3ヵ月	+8.02%	+7.58%
過去6ヵ月	+15.98%	+15.11%
過去1年	+2.74%	+1.18%
過去3年	▲9.64%	▲16.18%
設定来	+9.41%	▲4.09%

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2003年11月21日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(2011年3月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
EXXON MOBIL CORP	エネルギー	3.33%
APPLE COMPUTER INC	テクノロジー・ハードウェア	2.52%
CHEVRON CORP	エネルギー	1.72%
GENERAL ELECTRIC CO.	資本財	1.70%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	テクノロジー・ハードウェア	1.58%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	1.50%
JPMORGAN CHASE & CO	各種金融	1.46%
AT&T INC	電気通信サービス	1.43%
PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	1.39%
WELLS FARGO & CO	銀行	1.31%

※比率は対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)RIC II Pan European Equity Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ 欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆ 複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
- ◆ 当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲3.55%	▲3.48%
過去3ヵ月	+1.22%	+0.64%
過去6ヵ月	+8.63%	+7.03%
過去1年	+9.40%	+7.38%
過去3年	▲3.19%	▲1.10%
設定来	▲12.80%	▲0.21%

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2000年11月14日]



※騰落状況はユーロ・ベースで計算しており、基準価額の推移もユーロ・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2011年3月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
Vodafone Group PLC	イギリス	通信サービス	2.3%
ING Groep NV	オランダ	金融	1.8%
Total SA	フランス	エネルギー	1.6%
BP PLC	イギリス	エネルギー	1.5%
Bayer AG	ドイツ	ヘルスクア	1.4%
Allianz AG	ドイツ	金融	1.3%
IMPERIAL TOBACCO	イギリス	生活必需品	1.2%
Royal Dutch Shell	イギリス	エネルギー	1.1%
Roche Holding AG	スイス	ヘルスクア	1.1%
BNP Paribas	フランス	金融	1.0%

■外部委託会社(2011年3月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Numeric	バリュ型	20.0%
THS	グロース型	10.0%
TT International	グロース型	15.0%
Hermes Sourcecap	グロース型	10.0%
Pzena	バリュ型	10.0%
Oechsle International	グロース型	17.5%
SW Mitchell	グロース型	10.0%
Invesco Perpetual	マーケット・オリエンテッド型	7.5%

(出所)Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)フィデリティ・欧州株・ファンド

(運用会社)フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+3.78%	+0.36%
過去3ヵ月	+10.80%	+8.63%
過去6ヵ月	+13.64%	+10.54%
過去1年	+1.05%	+0.49%
過去3年	▲15.95%	▲25.21%
設定来	+23.72%	+9.62%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:1998年4月1日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国(2011年2月末現在)

国名	比率
イギリス	22.0%
ドイツ	12.8%
フランス	10.3%
スペイン	7.6%
オランダ	6.4%

■組入上位5業種(2011年2月末現在)

業種	比率
素材	11.6%
銀行	9.9%
エネルギー	9.0%
医薬品・バイオテクノロジー・ヘルスケア	8.5%
各種金融	8.4%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄(2011年2月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	3.5%
BP PLC	イギリス	エネルギー	2.7%
INDITEX SA	スペイン	小売	2.5%
GRIFOLS	スペイン	医薬品・バイオテクノロジー・ヘルスケア	2.4%
BMW AG (BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG)	ドイツ	自動車・自動車部品	2.3%
NOVO NORDISK AS CL B	デンマーク	医薬品・バイオテクノロジー・ヘルスケア	2.3%
UBS AG-REGISTERED	スイス	各種金融	2.3%
BNP PARIBAS	フランス	銀行	1.9%
BARCLAYS PLC ORD	イギリス	銀行	1.7%
AXA SA	フランス	保険	1.6%

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4B

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.88%	+1.13%
過去3ヵ月	+6.85%	+8.33%
過去6ヵ月	+14.12%	+14.35%
過去1年	+4.90%	+2.41%
過去3年	▲10.41%	▲14.82%
設定来	+29.11%	+31.50%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	54.4%
ユーロ地域	19.1%
ユーロ除く欧州	21.3%
その他	5.2%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Nestle SA	CHF	21%
JULIUS BAER GROUP	CHF	1.3%
Walt Disney Co.	USD	1.2%
Diageo PLC	GBP	1.2%
CIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.2%
Wells Fargo&Co.	USD	1.1%
Oracle Corp.	USD	1.1%
BANK OF NEW YORK MELLON	USD	1.0%
Linde AG	EUR	1.0%
UBS AG	CHF	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーシコ	グロース型	15.0%
マッキンリー	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイティセージョン(流動資金の株式化)部分等を除く。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.75%	+2.44%
過去3ヵ月	+8.03%	+7.80%
過去6ヵ月	+13.77%	+13.03%
過去1年	+2.39%	+0.72%
過去3年	▲17.29%	▲21.75%
設 定 来	+5.74%	▲2.45%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2001年10月17日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	53.86%
イギリス	10.12%
カナダ	5.94%
フランス	4.71%
オーストラリア	4.23%
ドイツ	4.10%
スイス	4.02%
スペイン	1.73%
スウェーデン	1.55%
イタリア	1.34%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.79%
APPLE COMPUTER INC	アメリカ	1.34%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.91%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.90%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	0.85%
NESTLE SA-REG	スイス	0.84%
MICROSOFT CORP	アメリカ	0.83%
HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	0.79%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.76%
AT&T INC	アメリカ	0.76%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4A

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジを行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.25%	▲0.54%
過去3ヵ月	+2.24%	+4.29%
過去6ヵ月	+11.76%	+12.61%
過去1年	+11.73%	+11.99%
過去3年	+7.62%	+4.86%
設 定 来	+27.27%	+37.46%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	54.4%
ユーロ地域	19.1%
ユーロ除く欧州	21.3%
その他	5.2%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Nestle SA	CHF	2.1%
JULIUS BAER GROUP	CHF	1.3%
Walt Disney Co.	USD	1.2%
Diageo PLC	GBP	1.2%
CIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.2%
Wells Fargo&Co.	USD	1.1%
Oracle Corp.	USD	1.1%
BANK OF NEW YORK MELLON	USD	1.0%
Linde AG	EUR	1.0%
UBS AG	CHF	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーシコ	グロース型	15.0%
マッキンリー	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイティ・エクイティ・エクイティ(流動資金の株式化)部分を除く。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) (運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.22%	+0.01%
過去3ヵ月	+3.58%	+3.35%
過去6ヵ月	+12.06%	+11.39%
過去1年	+10.20%	+9.20%
過去3年	+2.17%	▲3.33%
設定来	+8.50%	▲0.48%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2001年10月17日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■組入上位10カ国

国名	ウェイト
アメリカ	56.04%
イギリス	9.30%
カナダ	5.51%
フランス	4.57%
欧州	4.22%
オーストラリア	3.95%
スイス	3.84%
ドイツ	3.79%
スペイン	1.60%
スウェーデン	1.41%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.66%
APPLE COMPUTER INC	アメリカ	1.25%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.85%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.84%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	0.79%
NESTLE SA-REG	スイス	0.78%
MICROSOFT CORP	アメリカ	0.77%
HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	0.73%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.71%
AT&T INC	アメリカ	0.71%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)RIC II World Equity Fund

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.06%	▲0.99%
過去3ヵ月	+4.15%	+4.80%
過去6ヵ月	+14.75%	+14.18%
過去1年	+16.12%	+13.45%
過去3年	+5.88%	▲0.24%
設定来	+64.55%	+46.70%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2004年6月24日]



ポートフォリオの状況

■地域別構成比率(2011年3月末現在)

地域	比率
US & Canada	47.4%
Europe ex UK	26.0%
United Kingdom	7.6%
Japan	7.5%
Emerging Markets	7.5%
Asia Pacific ex-Japan	4.0%

■株式組入上位10銘柄(2011年3月末現在)

地域	比率	業種	比率
Walt Disney Co.	米国	一般消費財	1.3%
Compagnie Financiere	スイス	一般消費財	1.1%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.1%
Inditex SA	スペイン	一般消費財	1.0%
Barrick Gold Corp.	カナダ	材料	1.0%
Oracle Corp.	米国	情報テクノロジー	0.9%
Nippon Telegraph & Telephone Corp.	日本	通信サービス	0.9%
Linde AG	ドイツ	材料	0.8%
State Street Corp.	米国	金融	0.8%
Newmont Mining Corp.	米国	材料	0.8%

■外部委託会社(2011年3月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
MFS Institutional Advisors	マーケット・オリエントド グローバル型	30.0%
Arrowstreet Capital	マーケット・オリエントド バリュー型	25.0%
Axiom	グローバル型	20.0%
Tradewinds	バリュー型	10.0%
Marsico	グローバル型	15.0%

(出所)Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)グローバル成長株ファンド

(運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。
- ◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。
- ◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグロース/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.44%	+1.36%
過去3ヵ月	+6.32%	+6.58%
過去6ヵ月	+14.90%	+11.94%
過去1年	+3.03%	▲0.59%
過去3年	▲26.89%	▲22.77%
設定来	+1.81%	+0.13%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:2001年10月2日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	49.0%
イギリス	11.0%
フランス	6.8%
日本	6.1%
ドイツ	3.8%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
APPLE COMPUTER INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	3.0%
ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	3.0%
EMC CORP/MASS	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	2.1%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカドル	資本財	2.1%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカドル	各種金融	2.0%
LOWE'S COS INC	アメリカドル	小売	1.9%
NEWS CORP-CL A	アメリカドル	メディア	1.7%
GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.6%
ENSCO PLC-SPON ADR	アメリカドル	エネルギー	1.6%
ANGLO AMERICAN PLC	イギリスポンド	素材	1.6%

(投資信託名)RIC Global Bond Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Barclays Capital Global Aggregate)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.43%	+0.47%
過去3ヵ月	+2.12%	+1.24%
過去6ヵ月	+0.49%	▲0.10%
過去1年	+9.58%	+7.15%
過去3年	+18.10%	+12.29%
設定来	+152.09%	+165.80%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:1994年9月30日]



ポートフォリオの状況

■セクター別構成比

セクター	比率
国債・現金	▲19.2%
政府保証債	▲4.2%
社債	3.9%
A B S	5.1%
R M B S	▲0.9%
C M B S	0.1%
ハイイールド社債	5.6%
エマージング債	9.7%

■格付け別構成比(BM対比)

格付け	比率
AAA・現金	▲8.3%
AA	▲17.6%
A	2.0%
BBB	11.5%
その他	12.4%

■外部委託会社(BM対比)(2011年3月末現在)

運用会社	スタイル	目標配分
PIMCO	セクター特化型	35.0%
Colchester Global Investors	マクロ・バリュー型	20.0%
Loomis	銘柄選択型	35.0%
Brookfield	セクター特化型	10.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)グローバル・ボンド・ファンドVA

(運用会社)アバディーン投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆シティグループ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FIS日本債券マザーファンド」および「FIS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.24%	+1.45%
過去3ヵ月	+3.41%	+2.89%
過去6ヵ月	▲2.01%	▲1.89%
過去1年	▲4.35%	▲4.84%
過去3年	▲9.88%	▲8.59%
設 定 来	+16.31%	+24.77%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:2002年8月1日]



ポートフォリオの状況(2011年3月末現在)

■国別構成比率
上位5カ国

国	比率
日本	28.93%
アメリカ	21.18%
ドイツ	9.12%
イギリス	7.75%
イタリア	5.63%

■通貨別構成比率
上位5通貨

通貨	比率
ユーロ	29.35%
日本円	28.93%
米ドル	24.52%
英ポンド	5.81%
カナダドル	1.65%

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2012/11/15	1.375%	AAA	3.94%
アメリカ国債	USD	2020/02/15	3.625%	AAA	3.92%
日本国債	JPY	2014/06/20	1.600%	AA	2.97%
日本国債	JPY	2012/06/20	1.500%	AA	2.95%
アメリカ国債	USD	2015/11/15	4.500%	AAA	2.92%
日本国債	JPY	2012/06/20	1.300%	AA	2.69%
イタリア国債	EUR	2021/09/01	4.750%	AA-	2.54%
日本国債	JPY	2018/09/20	2.300%	AA	2.13%
ドイツ国債	EUR	2013/04/12	3.500%	AAA	2.02%
オランダ国債	EUR	2018/07/15	4.000%	AAA	1.87%

(出所)アバディーン投信投資顧問株式会社

※各比率は、各マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

(投資信託名)ラッセル日本債券ファンドI-1

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲0.03%	▲0.01%
過去3ヵ月	▲0.73%	▲0.69%
過去6ヵ月	▲1.43%	▲1.50%
過去1年	+1.95%	+1.81%
過去3年	+4.85%	+5.28%
設 定 来	+10.17%	+12.17%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年3月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年3月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	74.3%
地方債	0.0%
政府保証債	0.7%
金融債	0.0%
事業債	17.6%
円建外債	3.7%
MBS	0.0%
ABS	0.0%
その他	3.6%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
りそな	広範囲型	50%
DIAM	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。
- ◆NOMURA-BPI総合短期(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合短期)をベンチマークとします。
- ◆デュレーション、公社債のセクター(種別・格付別等)配分、個別銘柄選定等をアクティブに決定・変更し、収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ノムラ短期債券オープン マザーファンド」を主要投資対象とします。

NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村証券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年～3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数で、一定の銘柄採用基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

(出所)野村アセットマネジメント株式会社ホームページより

ファンドの騰落状況(2011年3月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1年	+0.3%	+0.3%
過去2年	+0.9%	+0.8%
過去3年	+0.5%	+0.8%
設定来	+6.4%	+5.4%

※騰落状況は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。
※2～3年の騰落率は年率平均(複利ベース)
※設定来=2002年4月26日以降

ポートフォリオの状況(2011年3月末現在)

■デュレーション

2.0年

■種別構成比

種別	比率
国債	53.7%
地方債	2.0%
政府保証債	2.4%
金融債	-
事業債	30.9%
円建外債	4.7%
MBS	-
ABS	-
その他の債券	2.4%
その他の資産	3.9%
外貨建資産	-

■格付別構成比

格付	比率
AAA	60.8%
AA	18.7%
A	16.7%
BBB	-
BB	-
B以下	-
その他	3.9%

※「デュレーション」は短期金融資産(キャッシュ等)を含めたファンド全体のデュレーションをいいます。
※「種別構成比」における円建資産の種別は、ベンチマークの資産構成比に準じて表示しています。ベンチマークの種別に該当しない債券はその他債券とします。
※格付は、指定格付機関から受けている格付のうち、最も高い格付に依ります。
※比率は、マザーファンドにおける対純資産総額比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しています。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

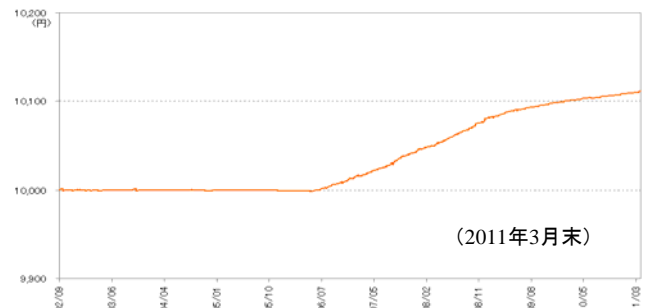
ファンドの特色等

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年3月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.01%
過去3ヵ月	+0.03%
過去6ヵ月	+0.06%
過去1年	+0.10%
過去3年	+0.60%
設定来	+1.11%

基準価額の推移(2011年3月末現在) [設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール
(2011年2月末現在)

平均残存日数	54.71日
平均残存年数	0.15年

■格付別構成比
(2012年2月末現在)

格付	比率	
	長期債券	短期債券
AAA/Aaa	-	-
AA/Aa	90.9%	-
A	-	-
A-1/P-1	-	-
A-2/P-2	-	-
現金・その他	9.1%	-

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄(2011年2月末現在)

銘柄	格付	比率
第168回 国庫短期証券 2011/04/27	AA/Aa	14.4%
第166回 国庫短期証券 2011/04/25	AA/Aa	9.8%
第169回 国庫短期証券 2011/05/09	AA/Aa	9.8%
第171回 国庫短期証券 2011/05/16	AA/Aa	9.8%
第162回 国庫短期証券 2011/04/11	AA/Aa	6.5%
第173回 国庫短期証券 2011/05/23	AA/Aa	6.5%
第174回 国庫短期証券 2011/05/30	AA/Aa	6.5%
第160回 国庫短期証券 2011/03/28	AA/Aa	5.9%
第154回 国庫短期証券 2011/03/07	AA/Aa	5.2%
第164回 国庫短期証券 2011/04/18	AA/Aa	5.2%

(出所)フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

アバディーン投信投資顧問株式会社

アバディーン・アセット・マネジメント・グループは、英国スコットランドのアバディーンに設立され世界24カ国31カ所に拠点を置き、資産運用に特化したグローバルな独立系資産運用会社です。上場する運用会社としては英国最大級の運用規模を誇っています。1983年の会社設立以降、独立系資産運用会社として主要金融機関の傘下に入ることなく、資産運用に特化した事業を展開し、順調な拡大を遂げています。独自の調査・分析および判断に基づいた運用を基本とし、世界の市場を網羅した効率的で地域に根ざした運用体制を構築しています。チーム運用重視、明確な運用プロセス、フラットな組織のもと、長期的視野に立った運用を行っています。

新光投信株式会社

当社は、ともに1961年に創立した新和光投信委託株式会社と太陽投信委託株式会社の合併により誕生した、国内でも有数の歴史を持つ資産運用会社です。2000年4月の合併以来、「魅力ある商品開発」「優れた運用成果」「質の高いサービスの提供」を経営理念とし、資産運用を行う専門家として、投資家のみなさまから信用されるべく、業務に邁進して参りました。

「資産形成のより良きパートナー」をモットーとして、投資家のみなさまからご満足いただける運用成果を目指すとともに、信頼されるサービスのご提供に全社一丸となって取り組んでいく所存です。

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社は、クレディ・アグリコル アセットマネジメントとソシエテ ジェネラル アセット マネジメントが合併して2010年7月に誕生した資産運用会社です。当社は、フランス共和国パリに本拠を置くアムンディ・グループの日本拠点で、グループ中核会社であるアムンディの100%子会社です。

アムンディは、2009年12月31日に欧州有数の銀行グループであるクレディ・アグリコル、ソシエテ ジェネラル、グループ双方の資産運用会社を統合して設立されました。拠点を欧州（パリ、ロンドン、ミラノ）、アジア（日本、香港、シンガポール）、オーストラリア、米国の主要金融市場に置き、あらゆる資産クラスと主要通貨を網羅する広範囲な運用商品をご提供します。また世界中の1億人以上のリテールのお客様のニーズに応えるべく、貯蓄・投資手段の提供に力を注ぎます。機関投資家のお客様については、個別のご要望やリスク許容度に応じた、革新的で良好なパフォーマンスを生み出すような商品を開発、提供します。

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、1959年の設立以来、半世紀にわたって、わが国をリードする資産運用会社として、投資家のみなさまに多様な金融商品を提供しています。

主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する仕組みを確立し、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

野村アセットマネジメント株式会社

1997年10月に野村証券投資信託委託株式会社と野村投資顧問株式会社が合併して発足した、野村グループの資産運用会社です。資産運用業界のリーディングカンパニーとして、最先端の金融テクノロジーを駆使した運用や商品開発、専門性を誇る調査、きめ細かなクライアント・サービス、グローバルなネットワークで、多様化するお客様のニーズにお応えしております。

投資信託だけでなく国内海外を問わず年金基金等の投資顧問の運用受託でも国内トップクラスの運用残高となっております。

フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FIL Limitedの実質的な子会社です。

FIL Limitedは、1969年にバミューダで設立され、米国を除く世界の主要なマーケットにおいて個人投資家と機関投資家を対象に投資商品ならびにサービスを提供しています。委託会社は、日本の機関投資家、個人投資家の皆様に投資機会を提供するための投資信託業務を1995年に開始し、資産運用に従事しています。

FIL Limitedの関連会社である、フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー(FMR Co.)※1は1946年にボストンで設立された歴史のある米国の投資信託会社です。世界各地のフィデリティ※2の投資専門家は、分析した個別企業の投資情報をお互いに共有しているため、グローバルな視点での投資判断が可能となっております。

※1 FMR Co.はFMR LLCの子会社です。

※2 FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。また、「フィデリティ」とは、日本語では「忠誠」、「忠実」を意味します。

ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメント グループは、「マルチ・マネージャー運用のグローバル・リーダー」として世界で総合的な資産運用サービスを提供しています。ラッセルが提供するサービスは、グローバルな運用会社調査をベースに、資産運用コンサルティング、資産運用サービス、執行管理サービス、オルタナティブ投資サービス、確定拠出年金サービス、Russell 1000®、Russell 2000®、Russell 3000®、Russell/Nomura日本株式インデックス、Russell Global Index等のインデックスの開発など多岐にわたります。ラッセル・インベストメント・グループの創立は1936年です。当グループは資産運用コンサルティング・サービスの大手で、またマルチ・マネージャー運用のパイオニアです。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【お問い合わせ先】